

京大リウマチ通信

第8号 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



2013.1.18. 文責：布留守敏

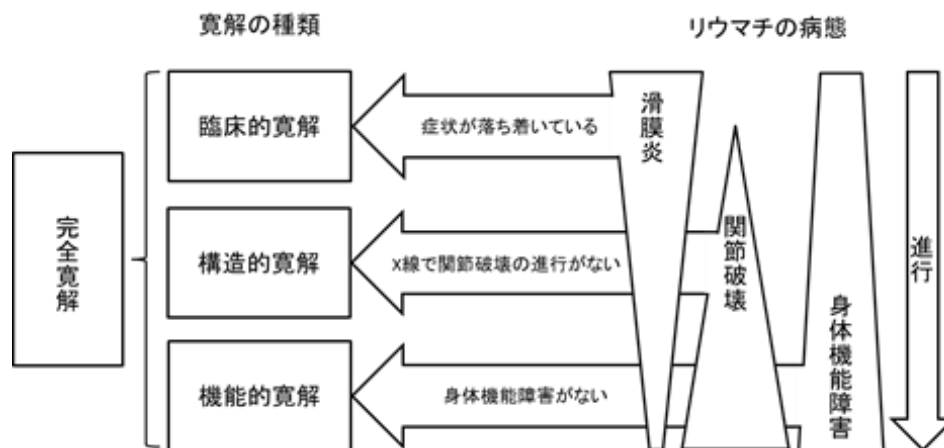


リウマチの寛解とは

「寛解（かんかい）」とは、病気が治った（治癒）というわけではなく、病状が落ち着いて病気の勢い（疾患活動性）がほとんど存在しない状態のことをいいます。関節リウマチの寛解とその評価方法は、治療の進歩に伴って時代と共に変化してきております。最近の寛解の考え方について簡単に説明します。

1) 3つの寛解

寛解には、滑膜炎が消退して痛みや腫れや検査値の異常などの疾患活動性がみられず症状が落ち着いている「臨床的寛解」と、X線で関節破壊の進行が停止している「構造的寛解」、身体機能障害がない「機能的寛解」があります。この3つの寛解を満たしたのが「完全寛解」となります（図）。



2) 治療目標としての寛解

関節リウマチの治療法は、近年目覚ましく進歩しており、より高い治療目標を目指すことが可能になりました。治療目標としてこの3つの寛解を目指すのが前提となります。従って、この3つの寛解をいかに評価するかが重要です。



3) 寛解の評価方法

臨床的寛解の評価方法として、DAS28（ダス28）や SDAI（エスダイ）などの「総合的活動性指標（composite measure）」があります。これらは、診察所見（関節の腫れや圧痛の有無）や炎症反応（血液検査）、患者さんや医師が主観的に評価するリウマチの勢いを加味して算出された数値（VAS）を用いて計算します。たとえば DAS28 は 2.6 未満を、SDAI は 3.3 以下を臨床的寛解とします。

構造的寛解の評価は、手足などのX線検査でおこないます。関節の隙間の広さや骨びらん（骨の虫食い様の像）の進行を定期的（年1回程度）に評価します。前回のX線と比較して関節破壊の進行がみられない場合を構造的寛解とします。

機能的寛解の評価は、HAQ（ハック）でおこないます。HAQは、毎回受診のたびに患者さんにあらかじめ書いていただいている身体機能についての質問から計算します。HAQが0.5以下を機能的寛解とします。

従って外来でよく行われている採血検査やX線検査、関節の触診、患者さんに書いていただくシートは、これら进行评估する目的で行っております。今後ともご協力をお願いいたします。



■学会報告

APLAR 2012

2012年9月ヨルダンのデッドシーで、アジア太平洋リウマチ学会が開かれました。近年目覚ましいリウマチ治療の進歩を反映して充実した学会でした。当センターからは布留が、「コホート研究におけるACR/EULAR寛解基準の妥当性と有効性」について発表を行いました。



左:ヨルダン学会会場
右:ペトラ遺跡



日本関節病学会 2012

2012年11月8、9日に鹿児島市で、日本関節病学会が開かれました。「なれる！関節諸病のエキスパート」というテーマで、明治維新の原動力となった薩摩の地に颯爽としたエキスパートが集い、熱い討論が行われました。当センターからは布留が「腸腰筋腱腫を認めた急速破壊型リウマチ股」について発表を、伊藤が「関節リウマチ治療の現状と将来展望」について教育セミナーを行いました。

日本臨床リウマチ学会 2012

2012年11月23、24日に神戸市で、日本臨床リウマチ学会が開かれました。「和而不同」というテーマで、近年飛躍的な進歩がみられる抗リウマチ薬に満足せず、さらなる進歩を目指そうという意欲的な学会でした。当センターからは布留が「関節リウマチのKURAMAコホートにおけるACR/EULAR寛解基準の妥当性の検討」について発表し、患者さんのVAS(バス)は医師のVASよりも高く、身体機能障害の程度が強いほど患者さんのVASが高くなると報告しました。また藤井が「関節リウマチ治療におけるT細胞抑制の重要性とその安全性」についてセミナーを行いました。

リウマチ教室

2012年9月19日、第4回リウマチ教室を開催しました。今回は、当院薬剤師の老本名津子さんに、「**リウマチに関する内服薬**」について、ご説明をいただきました。リウマチ治療に内服薬は欠かせませんが、どのような効果があって、使い方どのような注意が必要なのか、わかりやすく説明していただきました。

2013年1月17日、第5回リウマチ教室を開催しました。今回は、「**リウマチに関わる血液の検査結果の見方**」のテーマで、リウマチセンターの橋本が説明しました。

リウマチの病気の勢いをみるには血液検査のどの項目をみたらいいか、受診日ごとに行われる血液検査にはどういう意味があるかについてお話しました。興味のある方は、リウマチセンター外来に資料を用意しましたのでご覧ください。

今後もリウマチ教室を予定しております。
皆様の参加をお待ちしております。



診療受付時間

午前8時30分～午前11時00分

診察室	月	火	水	木	金
108号室	橋本	荻野	藤井	橋本	藤井
109号室		布留(午後)	伊藤	伊藤	布留

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター
代表電話 075(751)3111 予約電話 075(751)4891
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

